

## 親子の絆をテーマにした5つの物語。

R a d i o D r a m a C D B O O K

「キミの笑顔～親子の小さな5つの物語」

7月7日（七夕）より全国書店で発売！

「親子の絆」、それは生まれて来た全ての人間にとって、もっとも身近な絆です。最近、痛ましく、哀しい事件が続発しています。そんな世の中だからこそ、我々は改めて「親子」、「家族」について見直したいと考え、「日常のありふれた親子の愛」をテーマにラジオドラマ「三ツ矢サイダーショートストーリー キミの笑顔」をTOKYO FM系JFN38局ネットで放送を開始しました。番組を通じて、『忘れていた親への感謝の気持ち、子供への無償の愛を少しでも感じてもらいたい』という気持ちを込めて、音だけの世界で「物語」を紡いでいます。

昨今の若者の異様な犯罪は、イマジネーション能力やコミュニケーション能力、ならびに抑制能力の低下がひとつの要因であると言われていています。そこでTOKYO FMでは、昨年から『ヒューマンコンシャス・キャンペーン～生命を愛し、つながる心』をスタートし、“音”で想像力を豊かに広げる良質な音声コンテンツの開発に努めています。この「三ツ矢サイダーショートストーリー キミの笑顔」も、そうした音声コンテンツのひとつとして、お届けしているものです。

今回のCD BOOK「キミの笑顔～親子の小さな5つの物語」は、番組を聞き逃した、または番組を知らなかったという人たちにも、改めて親子や家族について考えてみるきっかけとなればとの思いを込めて、昨年の7月～9月に放送された13本の中から厳選した5つの物語をシナリオとドラマCDで綴ったCD BOOK化したという、新たな試みです。

人気作曲家でピアニストの稲本響さんに楽曲提供して頂き、よりエモーショナルなラジオドラマに仕上げました。また、5つのラジオドラマの脚本が収録された書籍のイラストは、人気少女漫画家の吉野朔実さんに全編書き下ろして頂き、「音」と「文字」しかない世界に、「絵」をコラボレート。CD BOOKならではの趣向を凝らしています。

発売は2006年7月7日（金）。全国書店及び番組公式サイト上でネット販売いたします。

放 送 局	TOKYO FM系 JFN38局ネット
番 組 名	「三ツ矢サイダーショートストーリー キミの笑顔」
放 送 時 間	毎週月～金 14:55～15:00
ディレクター	横澤剛
プロデューサー	藤村裕紀（TOKYO FM）、高草木恵（電通）
チーフ・プロデューサー	小林哲（TOKYO FM）

書	籍	名	「キミの笑顔～親子の5つの小さな物語」
脚		本	福田卓郎・浅沼晋太郎・川邊優子・千葉雅子・川上徹也（収録順）
出	演	者	山崎一、涼風真世、大塚ちひろ、芳本美代子、伊藤かずえ 他。
音		楽	稲本響
イ	ラ	ス	ト
定		価	1,429円（税込み1,500円）

企画・制作 TOKYO FM、電通



<参考：番組に寄せられたリスナーの反響（抜粋）>

いつも楽しく聞いています。自分が子供の頃は、何かにつけ干渉してくる親に対し、鬱陶しく思ったことも多々ありますが、自分が親になってみると、あの頃の両親の気持ちが、よく分かります。子供が、大事で大事で深い愛情があるからこそなんですよ。そんな親子についていろいろと思いを馳せてしまいます。（29歳女性）

毎日残忍な事件が多い中、この番組は心が癒されるお話が多く、子供と一緒に聞き、ホットして元気が出る番組だと思います。これからも、温かいお話を多く放送してください。（35歳女性）

年頃だった自分と親との関係を考えさせられました。（33歳女性）

最近親子間がぎすぎすしがちなのでこの番組を聞くと元気になります。（44歳女性）

今の世の中、何かが壊れているとおもいます。それは親子の絆だと思います。いつからそれは壊れてきたのか、わかりませんが、今からでも遅くありません。どんなに忙しくても、心を込めて大切にしたいとおもいます。（49歳女性）

なんだか幼い頃の自分に戻ったような気持ちになれました。ありがとうございました。（35歳女性）

ヒューマンなものが、ばんばんラジオから流れる事が大事な時代だと思ったりします。温かいものが冷たいものに負けてはいけないと思います。（48歳男性）

最近ではなかなか見つからない親子の絆・・・

会話をもつことさえ難しいとされている今 こういうやさしいストーリーは心が洗われます。精一杯背伸びをしたい年頃の子との触れ合い方なんかは今後の勉強になりますね。（29歳女性）

親子とは？と考える時間を持つことができました。日頃もっと話をするように努めようと思いました。（44歳男性）

毎回楽しみにさせて頂いております。そして、その度に、色々と考えさせられております。御互いを思い合う心さえあれば、時には、すれ違いになっても、きっといつの日か、心が通じ合えるものと思いたいです。そして、思うだけでなく、その気持ちを、恥ずかしがらずに、はっきりと言葉で伝える事。そのことがとても大切ではないかと思えます。これからも、すばらしいストーリーを、御聞かせ下さい。（48歳男性）